

## 提案書評価基準

### 1 評価事項

提案書に対する評価項目は別紙「提案評価表」を参照。

### 2 評価方法

#### (1) 評価

各評価項目について、A、B、Cの3段階評価とする。

#### (2) 評価点の算出

A評価（50点）、B評価（30点）、C評価（10点）に項目ごとの倍率を掛けて算出する。

#### (3) C評価があるものは原則として選定しない。

### 3 提案者の選定方法及び受託候補者の特定方法

(1) 評価項目について、委員長及び副委員長を含む全ての評価委員が与えた合計点が最も高く、かつ大項目1～6の各合計点数が全て6割以上を満たす者を受託候補者として特定します。

(2) 総合計点を比較してもなお、受託候補者を特定できない場合には、大項目3（システムの機能要件）の合計点の順序で受託候補者を特定します。

【提案評価表】

評 価 項 目		評価事項(重み)	評価（該当部分にマルをつけてください）			倍率 (参考)	満点
			A（50点）	B（30点）	C（10点）		
1 業務実施体制及び実績							500
1.1	【企業全体の評価】 消防・防災関連のGISの開発・導入実績	・過去10年以内に自治体における消防・防災関連のGISの開発・導入実績があるか。	5件以上ある。	3件以上ある。	2件以下である。	1	50
1.2	【企業全体の評価】 機密保持体制の整備	・セキュリティ対策としての機密保持体制が整えられているか。	機密保持体制が整えられており、実効性担保のための具体策が示されている。	機密保持体制が整えられている。	機密保持体制が整えられていない、または不十分である。	1	50
1.3	【企業全体の評価】 技術的な問題に対する対応能力	・開発時に発生した技術的な問題と、その問題に対する解決策や工夫などが明確に示されているか。	明確に示されており、説明内容に妥当性がある。	明確に示されている。	明確に示されていない。	1	50
1.4	【プロジェクト管理体制に関する評価】 プロジェクト管理体制の整備	・プロジェクト管理に必要な人員が確保されているか。(管理業務に必要な役割が埋まっているか、管理者の稼働率が低すぎないか等を確認することで人員確保状況を判断) ・プロジェクト管理を支援する体制(プロジェクトマネージャの補佐等)があるか。	人員が確保されており、支援体制も存在する。	人員は確保されているが、支援体制はない・不十分である。	人員確保が不十分である。	1	50
1.5	【プロジェクト管理体制に関する評価】 プロジェクト管理者の実績	・過去10年以内に自治体における消防・防災関連のGISのプロジェクト管理経験があるか。	5件以上ある。	3件以上ある。	2件以下である。	1	50
1.6	【プロジェクト管理体制に関する評価】 プロジェクト管理手法	・プロジェクト管理に採用する手法が明確か。	明確に示されており、同様の手法で遂行した実績がある。	明確に示されている。	明確に示されていない。	1	50
1.7	【プロジェクト管理体制に関する評価】 プロジェクト管理において発生した問題に対する対応能力	・今回採用するプロジェクト管理手法を採用した過去のプロジェクトについて、プロジェクト管理において発生した問題と、その問題に対する解決策や工夫などが明確に示されているか。	明確に示されており、内容に妥当性がある。	明確に示されている。	明確に示されていない。	1	50
1.8	【プロジェクト従事者に関する評価】 プロジェクト対応要員の確保	・開発期限内にプロジェクトを完遂するために必要な要員が確保されているか。	必要な人数が確保されており、技術力に関する懸念もない。	必要な人数が確保されているが、技術力に関する懸念がある。	必要な人数が確保されていない。	1	50
1.9	【プロジェクト従事者に関する評価】 プロジェクト対応要員のバツファの確保	・プロジェクト遅延等の不慮の事態にも対応できるプロジェクトメンバー以外の要員確保体制が整っているか。	必要な人数を補充可能であり、技術力に関する懸念もない。	必要な人数を補充可能だが、技術力に関する懸念がある。	必要な人数を補充できない可能性がある。	1	50
1.10	【プロジェクト支援体制に関する評価】 プロジェクト支援体制	・今回のプロジェクトを支援する具体的な企業体制が示されているか。	明確に示されており、内容に妥当性がある。	明確に示されている。	明確に示されていない。	1	50

【提案評価表】

評価項目		評価事項(重み)	評価（該当部分にマルをつけてください）			倍率 (参考)	満点
			A（50点）	B（30点）	C（10点）		
2 調達方針に関する理解							200
2.1	提案にあたっての基本的な考え方	・業務説明資料に沿って、業務目的を適切に理解した妥当な提案となっているか。	十分理解し、具体的な提案となっている。	概ね業務説明資料に沿った提案となっている。	業務説明資料に沿った提案となっていない。	2	100
2.2	開発実施時の重視点	・今回の開発を成功させるための開発プロセスが明確に示されているか。 ・調達の目的やシステムの特徴に基づき、開発プロセスの中で特に重視するポイントが説明されているか。	明確に示されており、内容に妥当性がある。	明確に示されている。	明確に示されていない。	1	50
2.3	仕様の実現手法に関する提案	・現行システムにおける課題の解消に向けた手法や実装する機能等を当局と協議の上確定するプロセスについてデモやモックアップを駆使するなど具体的に提案されているか。	具体的に提案されており、内容に妥当性がある。	具体的に提案されている。	提案されていない、または提案が具体的でない。	1	50
3 システムの機能要件							750
3.1	GISに求める機能の実現	・業務説明資料8で本市が要求する機能を実現することが可能か。	要求内容を実現することが可能であり、有用な追加提案がある。	要求内容を実現することが可能である。	要求内容を一部実現できない。	1	50
3.2	震災・風水害・都市災害時の機能の実現	・業務説明資料8に記載のある機能のうち、現行の業務システムから次期GISに機能を移行する想定「災害受信票情報機能」、「編成情報機能」について開発手法から実現方法まで具体的に提案されているか。 ・その他有用な追加提案がされているか。	要求内容を実現することが可能であり、有用な追加提案がある。	要求内容を実現することが可能である。	要求内容を一部実現できない。	3	150
3.3	横浜市ネットワーク環境への理解・対応	・業務説明資料12(4)で示す本市のネットワーク環境を理解した具体的な提案になっているか。 ・過去に本市のシステム構築の経験がある場合は高得点とする。	要求内容を実現することが可能であり、具体的な提案になっている。または、本市のシステム構築の経験がある。	要求内容を実現することが可能である。	要求内容を一部実現できない。	3	150
3.4	他システムとの連携	・業務説明資料12(4)で本市が要求するシステム連携を実現することが可能か。	要求内容を実現することが可能であり、本市のネットワーク環境に沿った具体的な提案になっている。	要求内容を実現することが可能である。	要求内容を一部実現できない。	3	150
3.5	他システムとの連携(将来的な拡張性)	・将来的に、GISと他の業務システムとの連携を行うことを要望した場合、機能拡張が可能か。 ・他部局とのシステム連携を要望した場合、機能拡張が可能か。	標準技術・柔軟な設計であり、機能拡張が容易である。	一部制約はあるが、ある程度の拡張性がある。	拡張性が低い。または、追加開発に多大な費用・工数が発生する。	2	100
3.6	他システムとの連携頻度	・業務説明資料8で本市が要求する各データの連携頻度を実現するために提案内容の実現方針やリスクとその対応策を具体的に説明しているか。	要求内容を超える連携頻度を提案しており、実現方針やリスク対応策に妥当性がある。	要求に沿った連携頻度を提案しており、実現方針やリスク対応策に妥当性がある。	要求内容を一部実現できない、または実現方針やリスク対応策に懸念がある。	1	50
3.7	画面デザイン・ユーザビリティ(UI・UX)	直感的に操作できる画面構成や、一目で市内の情報を把握できる地図表示、視認性の高いダッシュボードの提供、情報処理の分かりやすい画面遷移など、職員がサービスを利用するうえで、使いやすいユーザインタフェースを実現することが可能か。	要求内容を実現することが可能であり、有用な追加提案がある。	要求内容を実現することが可能である。	要求内容を一部実現できない。	2	100
4 システムの性能要件							150
4.1	システム利用時間等に関する提案	・24時間365日利用ができる想定になっているか。 ・大規模災害時においても、システムの早期復旧を行える提案になっているか。 ・システム稼働率が目標値を満たせる又は目標値を超える提案となっているか。(目標値:99.5%)	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50
4.2	データバックアップ	・システムを停止することなくバックアップデータを取得できる提案となっているか。	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50
4.3	システムの処理能力に関する提案	・同時アクセス可能な利用者数が150人以上であるか。 ・アクセス数が最大の時でも、業務説明資料13(4)で本市が要求する応答時間を実現することが可能か。	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50

【提案評価表】

評価項目		評価事項(重み)	評価（該当部分にマルをつけてください）			倍率 (参考)	満点
			A（50点）	B（30点）	C（10点）		
5 システムの構築要件							650
5.1	ユーザーのアクセス性	過不足のない最適なライセンス体系を提案しているか。 ・消防局全職員が業務に応じた権限でGISに安全かつ容易にアクセスし、データの追加・編集を円滑に行える仕組みが提案されているか。 ・追加契約をせずにアクセス・データ追加・編集の権限を追加・変更できるか。 など	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	2	100
5.2	拡張性に関する提案	・GIS稼働後においても機能を柔軟に拡張できるような工夫が提案されているか。	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50
5.3	クラウド環境での構築に関する提案	・クラウド環境で構築することが提案されているか。 ・採用するクラウドは「ISO/IEC 27017:2015 認証」または「CSマーク(ゴールド)」のいずれかを取得しているか	左記のいずれかの認証を取得したクラウド環境での構築が提案されている。	クラウド環境での構築が提案されている。	クラウド環境での構築が提案されていない。	2	100
5.4	ネットワークの冗長化	・ネットワーク環境が冗長化された提案となっているか。	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50
5.5	セキュリティに関する提案	業務説明資料12(5)で本市が要求する下記の事項について、要件を満たすための具体的な方法が提案されているか。 ・侵害対策 ・不正監視・追跡 ・アクセス・利用制限 ・データ保護 ・障害対策 ・サプライチェーン・リスク対策 ・利用者保護	すべての項目について、要求どおりの内容が提案されている。	概ね要求どおりの内容が提案されているが、一部項目に懸念がある。	要求どおりの内容が提案されていない。	2	100
5.6	開発環境構築	・開発環境(クラウド環境)を構築するための開発プロセスの全体を俯瞰した説明があるか。 ・開発プロセスに基づいた具体的な業務実施方法が提案されているか。	開発プロセスが明確に示されており、業務実施方法に妥当性がある。	開発プロセスが明確に示されている。	開発プロセスが明確に示されていない。	1	50
5.7	テスト環境構築	・テスト環境を構築するための開発プロセスの全体を俯瞰した説明があるか。 ・開発プロセスに基づいた具体的な業務実施方法が提案されているか。	開発プロセスが明確に示されており、業務実施方法に妥当性がある。	開発プロセスが明確に示されている。	開発プロセスが明確に示されていない。	1	50
5.8	システムテストの実施	・システムテストを実施するための実施計画(スケジュール・手法等)が示されているか。	実施計画が示されており、内容に妥当性がある。	実施計画が示されている。	実施計画が示されていない。	1	50
5.9	連携テストの実施	・連携テストを実施するための実施計画(スケジュール・手法等)が示されているか。 ・実施計画の中で、連携先システムベンダとの調整を本市任せにせず、自ら主導することが提案されているか。	実施計画が示されており、連携先システムベンダとの調整を含め、内容に妥当性がある。	実施計画が示されている。	実施計画が示されていない。	1	50
5.10	初期データの作成・取込	・初期データ(静的レイヤ)の作成・取り込みの実施方法が具体的に提案されているか。	具体的に提案されており、内容に妥当性がある。	具体的に提案されている。	提案されていない、または提案が具体的なでない。	1	50

【提案評価表】

評価項目		評価事項(重み)	評価（該当部分にマルをつけてください）			倍率 (参考)	満点
			A（50点）	B（30点）	C（10点）		
6 その他重要事項							300
6.1	本市職員との連携・協力体制	・設計・構築作業中、本市職員（総務課・業務所管課）と円滑にコミュニケーションをとり、連携・協力体制を築くことができるか。	コミュニケーションに懸念はない。	コミュニケーションに懸念はあるが、許容範囲である。	コミュニケーションに懸念があり、本市の負担が増す懸念がある。	2	100
6.2	品質保証	作業品質及び成果物の品質を担保するための方策について、具体的に提案されているか。	具体的に提案されており、内容に妥当性がある。	具体的に提案されている。	提案されていない、または提案が具体的でない。	1	50
6.3	運用保守を見据えた提案	・運用保守計画について具体的に提案されているか。 ・運用保守計画の中で、静的レイヤのアップデートが提案されているか。	具体的な運用保守計画が示されており、静的レイヤのアップデートが提案されている。	具体的な運用保守計画が示されているが、静的レイヤのアップデートは提案されていない。	運用保守計画が示されていない、または具体性に欠ける。	1	50
6.4	スケジュール	・実現可能と考えるスケジュール、マイルストーンが具体的に提案されているか。 ・リスク対応を見据えたバッファが確保されているか。	具体的に提案されており、リスク対応を見据えたバッファがある。	具体的に提案されているが、リスク対応を見据えたバッファがない。	提案されていない、または提案が具体的でない。	1	50
6.5	教育・操作研修	現行GISから次期GISへの移行について、操作研修や問合せ対応等が想定された提案になっているか。	要求内容を超える提案となっている。	要求どおりの内容が提案されている。	要求どおりの内容が提案されていない。	1	50
合計							2550